

クラス	TU307	担当教員	東内 瑠里子
テーマ	乳幼児の生活体験（自然、食、生活習慣、関わり）と保育実践研究		
著書・論文 研究課題等	共著『保育の探求 子どもの要求を土台にして』新読書社、2012年 共著『現代の社会教育と生涯学習』九州大学出版会、2013年 共著『「知的な育ち」を形成する保育実践—海卓子、畑谷光代、高瀬慶子に学ぶ』新読書社、2013年など		
ゼミナール概要			
キーワード：保育内容、乳幼児の生活体験、直接体験、保育実践			
<p>■学習目標■</p> <p>乳幼児の生活体験（自然、食、生活習慣、関わり）をキーワードに、現在の乳幼児の状況を把握した上で、どのような活動を、どのように経験させることで（あるいはどのような環境を準備することで）、どのような育ちの援助につながるのか、研究していきます。</p> <p>ゼミ生の興味によりますが、今年はもうひとつの柱として、障がい児支援の学習を行いました。</p> <p>■内容、方法および授業計画■※ゼミ生の希望で、変更があります。</p> <p>○演習として、現在計画しているものは以下の3つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「季の野の台所」という美浜町の農園や、東海農政局や、美浜町農業水産課などと連携し食育推進交付事業を実施しています。例えば、大豆を栽培して醤油を仕込む、石窯を作り、収穫した小麦粉でピザを焼くなど、一つ一つ手作りで、じっくりと時間をかけて取り組みます。 ② 発達障がい児と、その親との活動「いえいく。会」とともに、自然体験活動・食育活動を行います。 ③ 昨年度は、長期休暇中に、京都・子ども芸術大学の見学に行き、保育内容についてゼミで議論しました。 <p>○理論研究として、今年度おこなったものは以下です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 先行研究、先行実践の文献を分担でレポートし、発表・議論します。 今年度は、近藤直子先生が執筆された障がい児支援に関わる文献を10冊読んで、ゲスト講師の近藤直子先生と討論を行う予定です。 ②①で、研究方法を学び、3年生のうちに、自分の問題関心から、1本のミニ卒業論文をまとめます。 			
担当教員からのメッセージ			
<ol style="list-style-type: none"> ① 農園「季の野の台所」での活動には、年間1万円（施設利用費）がかかります。 ② 長期休暇中に、保育関係施設を見学に行く際には、旅費（視察先による）がかかります。 ③ 自然体験活動を行います。動植物と関わりたい、関われないけど関わられるようになりたい人のみ、このゼミに参加して下さい。 ④ 月に1～2回ほど、土日にも活動を行うときがあります。 			